

★ハスモンヨトウ情報

豆類や野菜類等を加害するハスモンヨトウの発生が多くなっています。ほ場を見回り、発生初期の防除に努めましょう。

1. 発生状況

(1) 9月中旬の当所の巡回調査での発生量は、黒大豆、アズキ、キャベツで平年比(例年比) やや多く、ダイコンで平年比多くなっています。

作物	項目	本年	平年値(例年値)
黒大豆	寄生株率(%)	10.0	4.2
アズキ		2.3	2.6
黒大豆	白変葉(10a当たり箇所数)	4.4	6.3
アズキ		3.0	1.6
キュウリ	寄生株率(%)	0.00	0.00
ナス	幼虫数(頭/葉)	0.00	0.01
キャベツ	寄生株率(%)	1.1	(0.3)
ダイコン	寄生株率(%)	1.3	0.2

(2) 9月第2半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で平年比多くなっています。亀岡市では平年並、京丹後市では平年比少なくなっていますが、8月後半以降はどちらも増加傾向です(図1)。

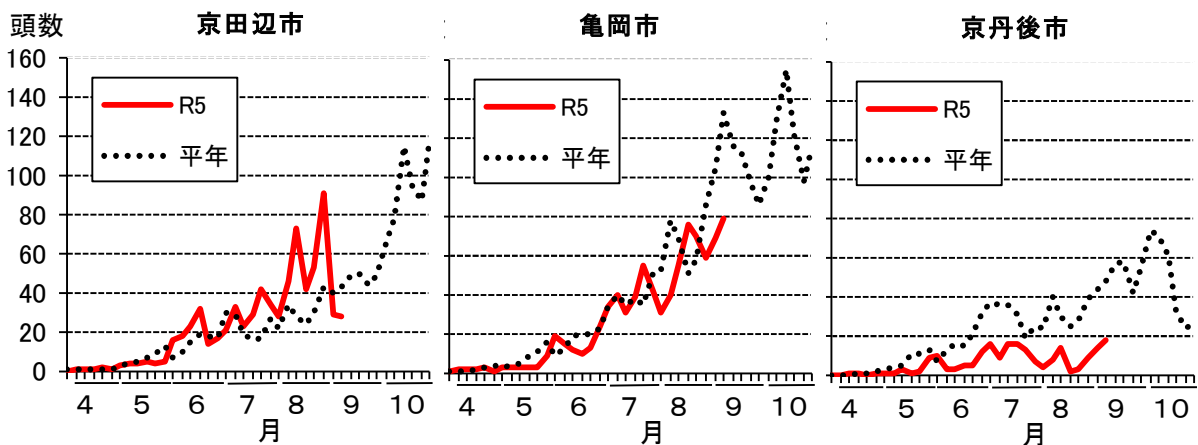


図1 フェロモントラップへのハスモンヨトウの誘殺状況

2. 気象予報

(1) 大阪管区气象台9月14日発表の近畿地方1か月予報によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並と予想されており、本虫の増殖しやすい状態が続くと考えられます。

3. 防除上の留意事項

- (1) ほ場を見回り、若齢幼虫分散前の白変葉の早期発見・除去に努めてください。
- (2) 齢が進んだ幼虫では農薬の効果が著しく低下するので、若齢幼虫期の防除が重要です。
- (3) 使用農薬は異なる系統のものを用い、同一系統の農薬の連用は避けてください。
- (4) 最新の農薬情報は農林水産省ホームページ「農薬コーナー」の「農薬情報」で確認してください。

ダイズの白変葉



アズキの白変葉



葉裏の若齢幼虫

卵塊



中齢幼虫



老齢幼虫



ネギに群がる老齢幼虫